

第32回すわ大昔フォーラムの開催について

諏訪市博物館では3月26日(日)に、第32回すわ大昔フォーラムを開催します。

- 1 日時 令和5年3月26日(日) 午後1時30分～午後3時
- 2 会場 諏訪市博物館 学習室
- 3 演題 「仮説・五本目の御柱」
- 4 講師 坂間雄司氏
- 5 内容 諏訪大社の御柱祭では4本の御柱が立てられますが、当初は5本目の御柱が存在したのではないかという仮説が最近発表され注目を集めています。その論文を執筆した坂間雄司氏を講師に迎えて論文のエッセンスをうかがい、御柱祭の歴史や意味について改めて思いを馳せる機会とします。詳細は添付のチラシをご参照ください。
- 6 申込み 3月1日(水)から受付
電話でお申し込みください(受付時間は午前9時～午後5時)
- 7 定員 30人(先着順 定員に達し次第、申込受付は終了します。)
- 8 料金 入館料が必要です(一般310円)
- 9 その他 新型コロナウイルス感染症の状況によっては急きょ中止する場合があります。最新情報は諏訪市博物館のホームページをご覧ください。

郷土史や考古学を調べたい・学びたいお客様、
すわ大昔情報センターをご利用ください。



〒392-0015 長野県諏訪市中洲 171-2
諏訪市博物館
(教育委員会事務局生涯学習課博物館)
担当 中島
電話 0266-52-7080
FAX 0266-52-6990
メール suwamu@city.suwa.lg.jp

博物館 HP ⇒ <https://suwacitymuseum.jp>
諏訪市 HP ⇒ <https://www.city.suwa.lg.jp>



◆ 講演会 ◆

「仮説・五本目の御柱」

◇ 日時： 2023年3月26日(日) 13:30～15:00

◇ 会場： 諏訪市博物館 学習室 (諏訪市中洲神宮寺 171-2)

令和四年に挙行された「諏訪大社式年造営御柱大祭」を機に、最近発表された下記の論文が注目を集めています。

坂間雄司「諏訪大社、二つの巨木の祭に関する再考－式年造営御柱大祭の御柱・大御立坐神事（御頭祭）の湛木について－」雑誌『信濃』2022年9月号（信濃史学会）

諏訪大社の御柱祭は、社殿の四隅に四本の御柱を立てる神事・祭礼ですが、なんと当初はもう一本“五本目の御柱”が存在したのではないかと、この仮説が発表されたのです。この意欲的な新説について、執筆者である講師から論文のエッセンスを伺い、御柱祭の歴史や意味について改めて思いを馳せてみます。

◇ 講師： 坂間雄司 さかま ゆうじ

1964年岡谷市生まれ。東京で広告業界に携わりコピーライティング、プランニング、ディレクションなどを経験後にUターン。神社仏閣、史跡、遺跡、古文書等を元にした諏訪地域の歴史・文化研究のかたわらディープなタウン誌『suwazine』編集長や‘岡谷ってスゴイんです’をテーマに地域を歩く「おかやるく」案内人などを務める。スワニズム会員、大昔調査会運営委員。



◆参加料 入館料(大人 310円) ◆定員 先着30名 事前申込み制

◆申込受付 3月1日(水)から電話にて受付開始 諏訪市博物館まで

電話：0266-52-7080 受付時間：午前9時～午後5時

※新型コロナウイルス感染症の状況次第で中止する場合があります。最新情報は博物館ホームページをご確認ください。